

2025年3月期 第1四半期決算説明会

2024年7月31日
株式会社エンプラス
(東証プライム 6961)

目次

決算概況

- 2025年3月期 第1四半期 決算説明
- セグメントの費用配賦の方針変更について
- 2025年3月期 連結業績見通し

事業概況

- 各事業の概況と今後の見通し
- キャッシュアロケーション方針（参考）

決算概況

2025年3月期 第1四半期損益実績（連結）

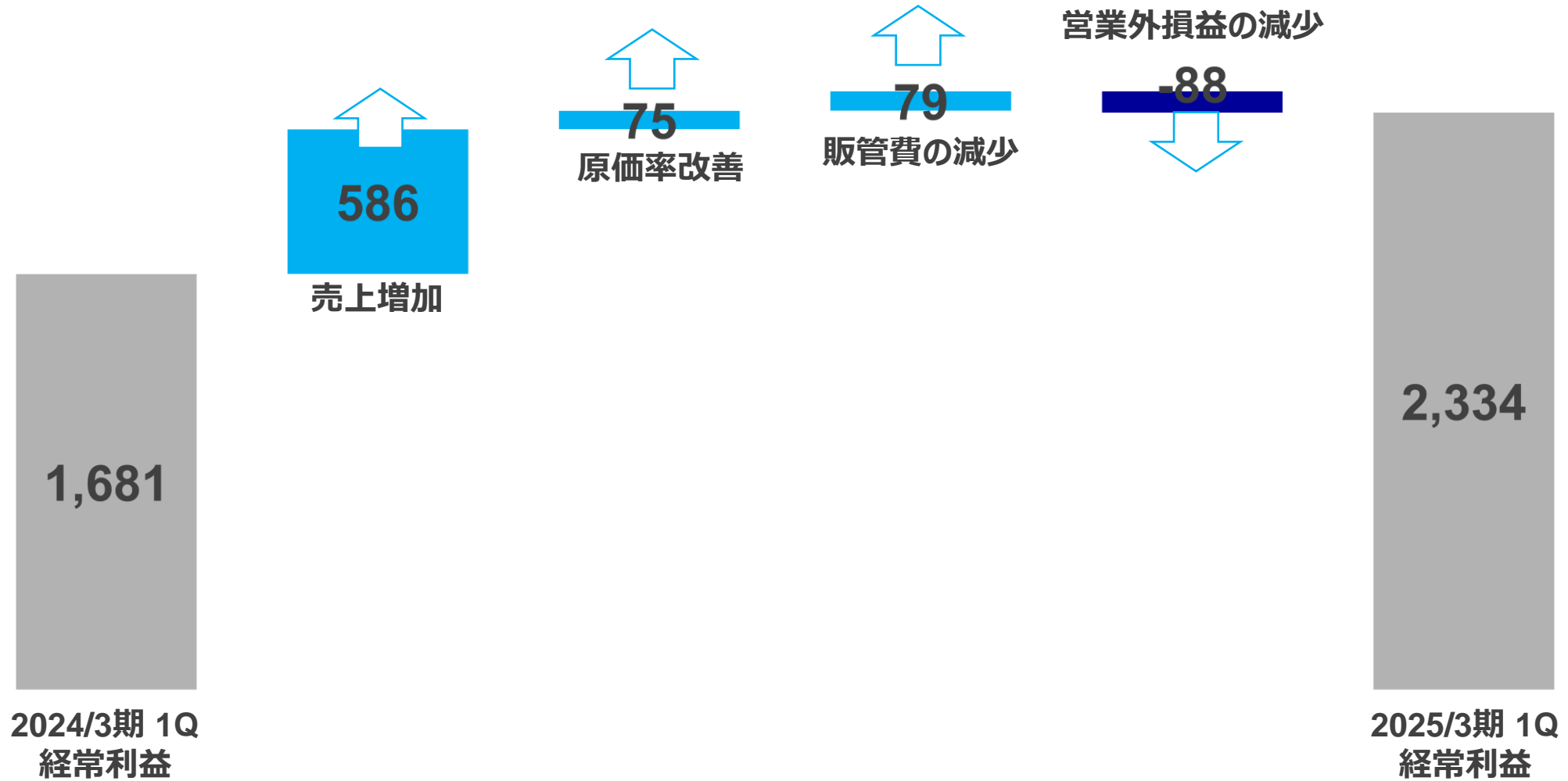
（単位：百万円）

	2024/3期	2025/3期	増減	(参考) 上期期初計画
	1Q実績	1Q実績		
売上高	9,715	10,601	+9.1%	19,500
売上原価率	53.2%	50.9%	-2.3pt	53.6%
営業利益	1,412	2,153	+52.5%	2,700
経常利益	1,681	2,334	+38.8%	2,800
親会社株主に帰属する 四半期純利益	735	1,518	+106.3%	1,900
1株当り四半期純利益	83.42円	172.00円	+88.58円	215.21円
期中平均レート（US\$）	138.11円	156.51円	+18.40円	(計画レート) 145.00円

為替感応度（US\$）：売上高 約200百万円/年、営業利益 約150百万円/年

経常利益の増減分析 <前1Q比>

(単位：百万円)



セグメントの費用配賦の方針変更について

当連結会計年度より、事業セグメントの業績をより適切に反映させるため、研究開発費の配賦基準を見直し、事業セグメントの利益又は損失の算定方法の変更を行っております。

変更内容

- Life Scienceに含めていた新事業の研究開発費を売上比率により全セグメントに配賦

変更理由

- 2024/3期まではLife Scienceの事業領域を広く捉えていたため、新事業の研究開発費を全てLife Scienceに計上
- 2025/3期から、Life Scienceは手広く事業拡大を図るのではなく、分野を絞って収益性の確保へと方針転換
- 今後、新事業の研究開発はLife Science以外が増加することを見込んでおり、売上比率により全セグメントに配賦

2025年3月期 第1四半期セグメント別実績 (連結)

(単位：百万円)

		2024/3期		2025/3期	方針変更後の 増減
		方針変更前の1Q	方針変更後の1Q	1Q実績	
Semiconductor	売上高	4,674	4,674	4,570	-2.2%
	売上原価率	50.3%	50.3%	49.8%	-0.5pt
	営業利益	852	762	719	-5.7%
Life Science	売上高	608	608	766	+26.0%
	売上原価率	63.9%	63.9%	57.4%	-6.5pt
	営業利益	-356	-182	115	-
Digital Communication	売上高	1,443	1,443	1,705	+18.2%
	売上原価率	23.5%	23.5%	19.9%	-3.6pt
	営業利益	782	755	1,065	+41.1%
Energy Saving Solution	売上高	2,989	2,989	3,558	+19.0%
	売上原価率	70.0%	70.0%	65.7%	-4.3pt
	営業利益	133	76	253	+232.0%

連結四半期損益実績推移

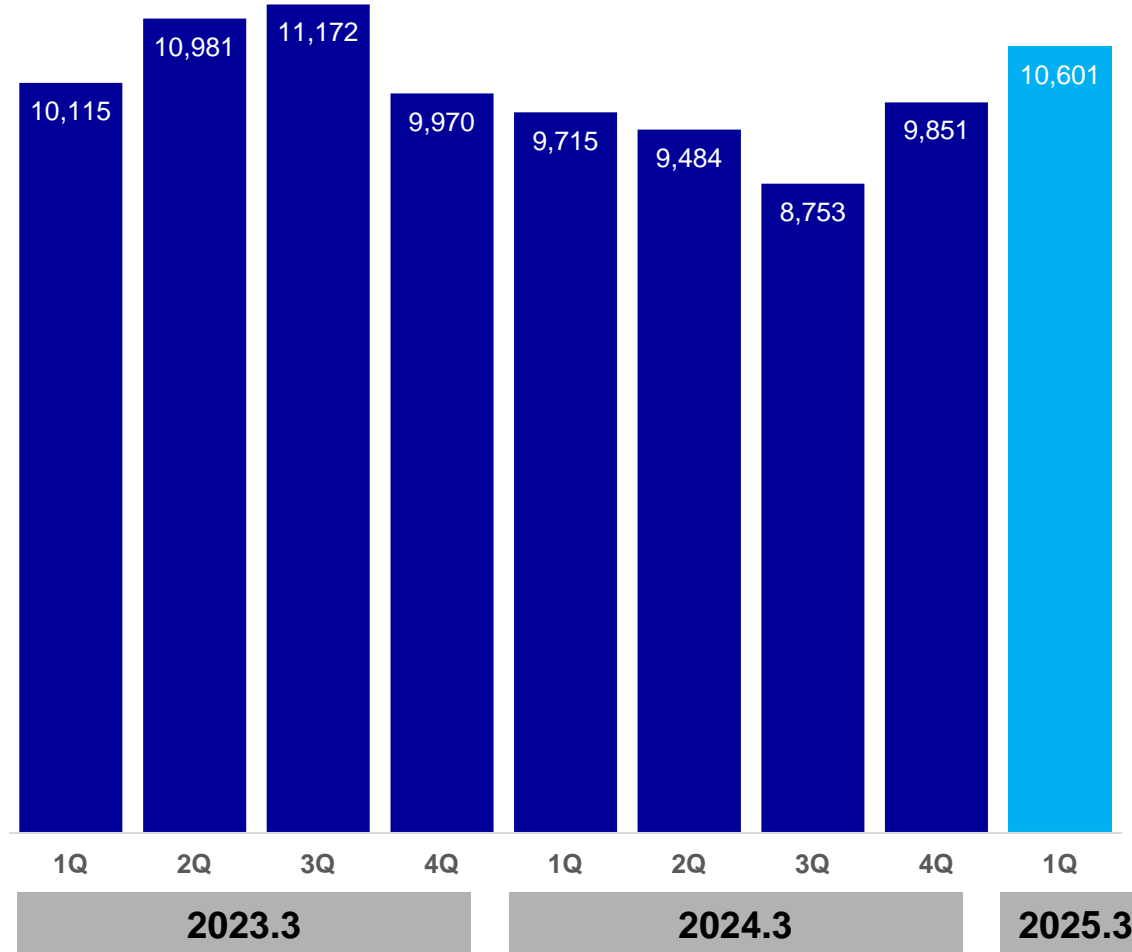
(単位：百万円)

	2024/3期				2025/3期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売上高	9,715	9,484	8,753	9,851	10,601
売上原価率	53.2%	53.9%	54.8%	58.1%	50.9%
営業利益	1,412	1,204	938	1,090	2,153
経常利益	1,681	1,414	775	1,392	2,334
親会社株主に帰属する 四半期純利益	735	1,062	485	1,159	1,518
1株当り四半期純利益	83.42円	120.39円	54.98円	131.35円	172.00円

連結四半期損益実績推移

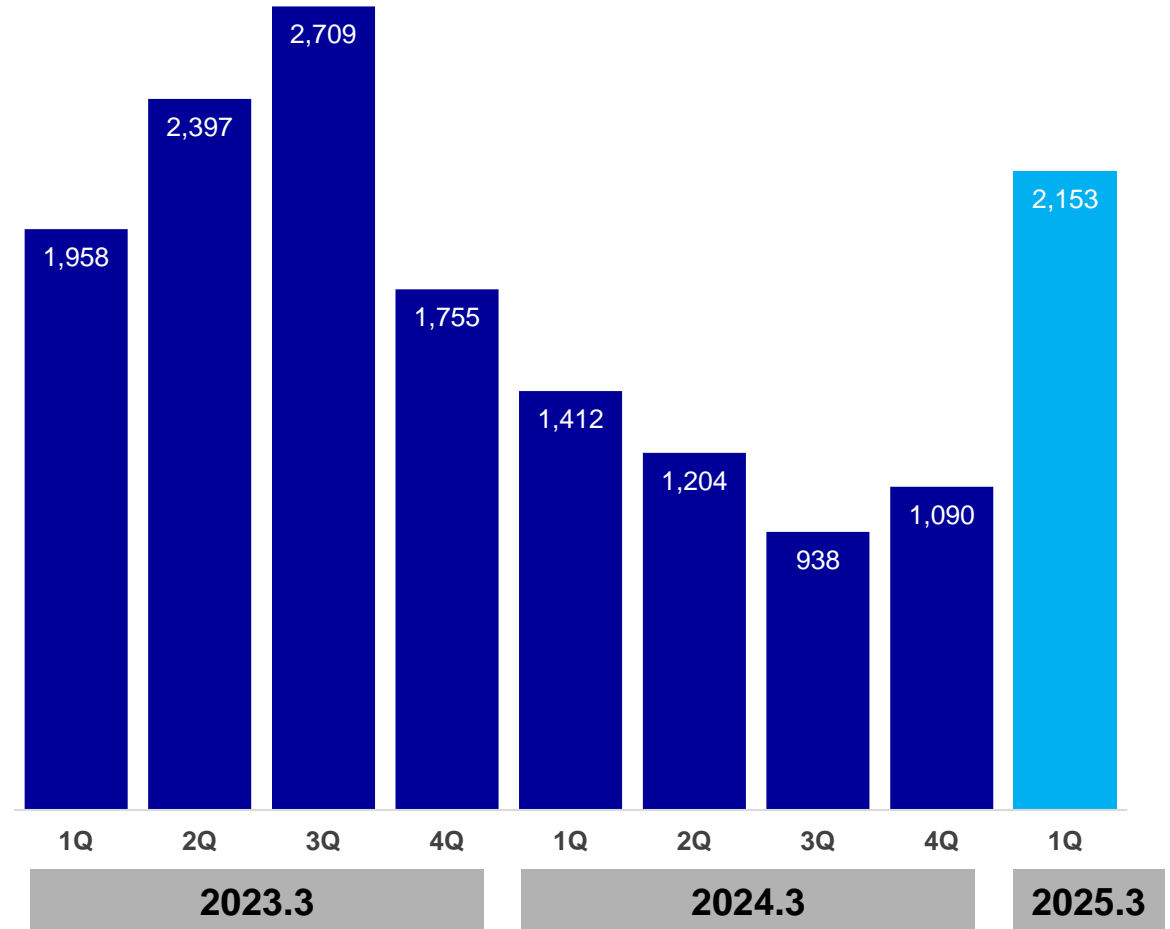
＜売上高の推移＞

(単位：百万円)



＜営業損益の推移＞

(単位：百万円)



参考：セグメント別四半期損益実績推移（連結）

（単位：百万円）

		2024/3期※				2025/3期
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
Semiconductor	売上高	4,674	4,013	3,422	4,566	4,570
	売上原価率	50.3%	54.8%	56.5%	59.3%	49.8%
	営業利益	762	320	40	336	719
Life Science	売上高	608	652	593	514	766
	売上原価率	63.9%	62.0%	55.4%	58.1%	57.4%
	営業利益	-182	-155	-90	-125	115
Digital Communication	売上高	1,443	1,529	1,424	1,239	1,705
	売上原価率	23.5%	21.8%	22.7%	23.4%	19.9%
	営業利益	755	830	754	682	1,065
Energy Saving Solution	売上高	2,989	3,289	3,313	3,530	3,558
	売上原価率	70.0%	66.1%	66.6%	68.6%	65.7%
	営業利益	76	208	233	196	253

※2024/3期の営業利益は、研究開発費の配賦基準の見直し後の算定方法によるものです。

決算総括

2025年3月期 第1四半期 損益実績

- Semiconductor事業が低調に推移したものの、他セグメントは好調に推移し、前年同期比で増収増益（売上高+9.1%、営業利益+52.5%、親会社株主に帰属する四半期純利益+106.3%）

Semiconductor事業

- サーバー用途は汎用サーバー需要の回復遅れ、自動車用途は顧客の在庫調整により、減収
- 期初想定より調整が長引いているものの、中期的には需要は増加の見込み

Life Science事業

- 新規量産品の立ち上げに向けた関連製品の販売により、1Qは一時的に増収
- 顧客の生産調整は長引く見通し

Digital Communication事業

- 光通信関連は、AI用途等において高いシェアを維持
- 前4Qの光トランシーバーサプライチェーンにおける部品不足が一部解消したことにより、増収

Energy Saving Solution事業

- 好調な自動車市場、自動車の電装化に対応した低騒音・高効率ギヤソリューションビジネスの拡大により、増収

決算総括

➤ 販売管理費

(単位：百万円)

2024/3期 1Q	2025/3期 1Q	差異
3,132	3,053	-79

- 労務費 -61百万円
- 旅費交通費 -27百万円

➤ 営業外損益

(単位：百万円)

2024/3期 1Q	2025/3期 1Q	差異
269	181	-88

- 為替差益 78百万円 (2024/3期 1Q為替差益 189百万円)

➤ 特別損益

(単位：百万円)

2024/3期 1Q	2025/3期 1Q	差異
-268	-192	+76

- 2025/3期 1Q実績
- 事業再構築費用 204百万円

2025年3月期 連結業績見通し

2025年3月期 連結業績見通しの前提

連結業績

- 事業計画レート（US\$）：145.00円（2024年4月30日の業績見通しから変更なし）
- 上期の業績見通しは、1Qの好調を受けて上方修正
- 通期の業績見通しは、上期の業績見通しを上方修正した分以外は変更なし

各セグメントの見通しは「事業概況と今後の見通し」（スライド18～23）に記載

2025年3月期 連結業績見通し

(単位：百万円)

	2025/3期	2025/3期 (4月時点)		2025/3期 (修正)	
	1Q実績	上期	通期	上期	通期
売上高	10,601	19,500	41,000	20,000	41,500
売上原価率	50.9%	53.6%	53.5%	52.9%	53.2%
営業利益	2,153	2,700	6,200	3,100	6,600
経常利益	2,334	2,800	6,500	3,300	7,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,518	1,900	4,500	2,200	4,800
1株当り当期純利益	172.00円	215.21円	509.71円	249.19円	543.69円
配当金	-	30.00円	60.00円	30.00円	60.00円

※事業計画レート (US\$) : 145.00円 (2024年4月30日の業績見通しから変更していません。)

2025年3月期 セグメント別売上見通し

(単位：百万円)

	2025/3期 (4月時点)		2025/3期 (修正)	
	上期	通期	上期	通期
Semiconductor	8,800	19,000	8,300	18,500
Life Science	1,200	2,500	1,500	2,800
Digital Communication	2,900	5,900	3,000	6,000
Energy Saving Solution	6,600	13,600	7,200	14,200

参考：2025年3月期 設備投資・減価償却・研究開発の見通し

(単位：百万円)

	2024/3期	2025/3期	2025/3期
	通期実績	1Q実績	通期
設 備 投 資	4,014	719	7,000
長期投資・環境投資	283	0	3,800
成長分野への投資	2,300	276	1,700
その他の設備投資	1,431	443	1,500
減 価 償 却	2,385	598	2,500
研 究 開 発	1,343	340	1,600

※2024年4月30日の業績見通しから変更していません。

事業概況と今後の見通し

Semiconductor事業

概況

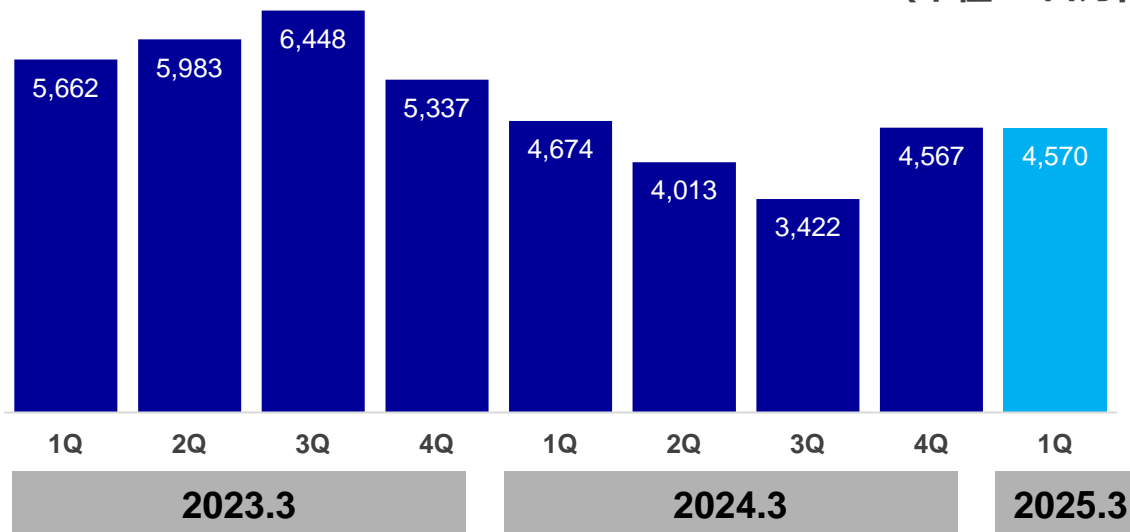
- 半導体需要の調整は当初想定より長引いているものの、当社が注力しているサーバーや自動車用途の需要は中期的には増加
- 将来の成長に向けたテスト用ソケットに関する技術開発等への投資を進める
- サーバー用途は汎用サーバー需要の回復遅れ、自動車用途は顧客の在庫調整により、1Qは減収

見通し

- 汎用サーバー需要の回復が遅れているものの、2Qを底に下期の売上は増加する見通し

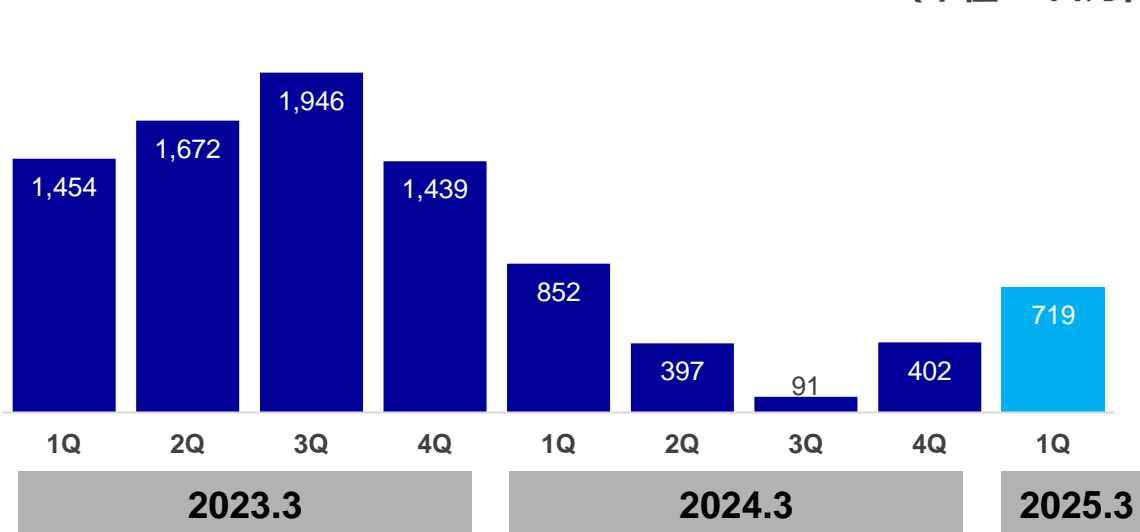
<売上高の推移>

(単位：百万円)



<営業損益の推移>

(単位：百万円)



※2023/3期、2024/3期は方針変更前の実績にしております。

Life Science事業

概況

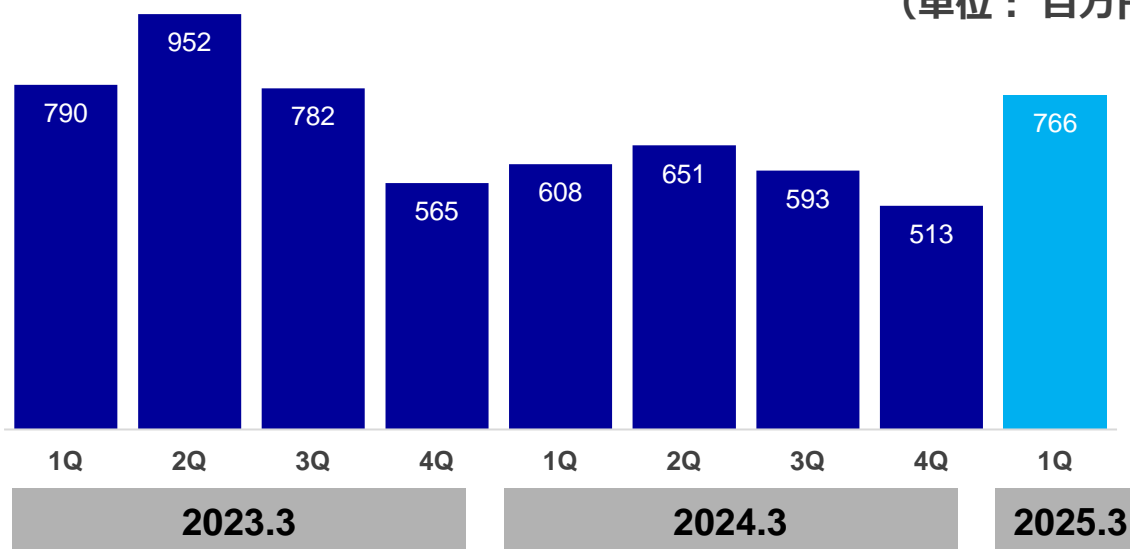
- 遺伝子検査用製品は、顧客の在庫調整が長引く見通し
- 新規量産品の立ち上げに向けた関連製品の販売により、1Qは一時的に増収

見通し

- 顧客の在庫調整が当面は続くものの、新規量産品の立ち上げにより2024/3期を上回る売上となる見通し

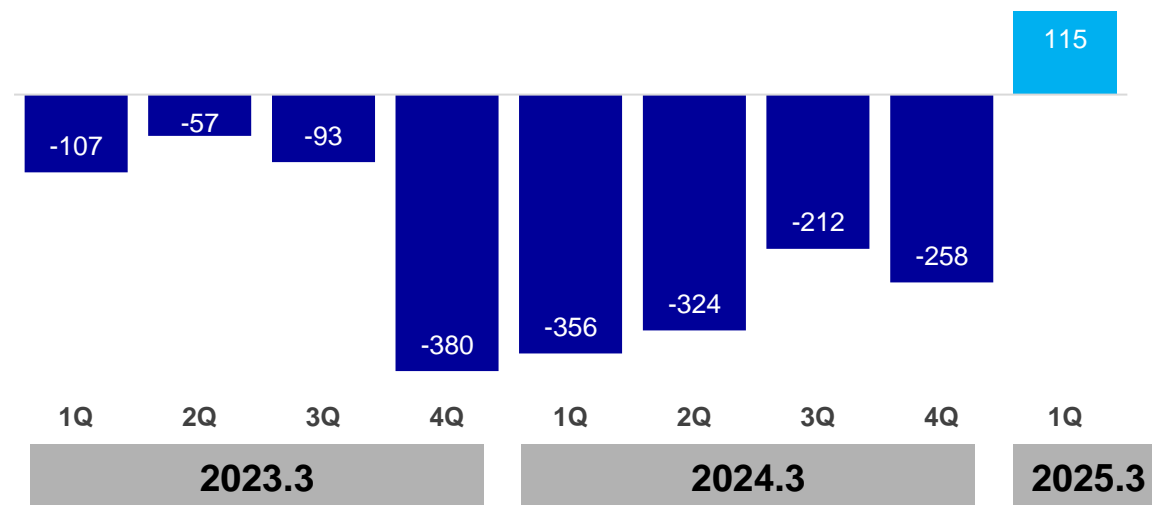
<売上高の推移>

(単位：百万円)



<営業損益の推移>

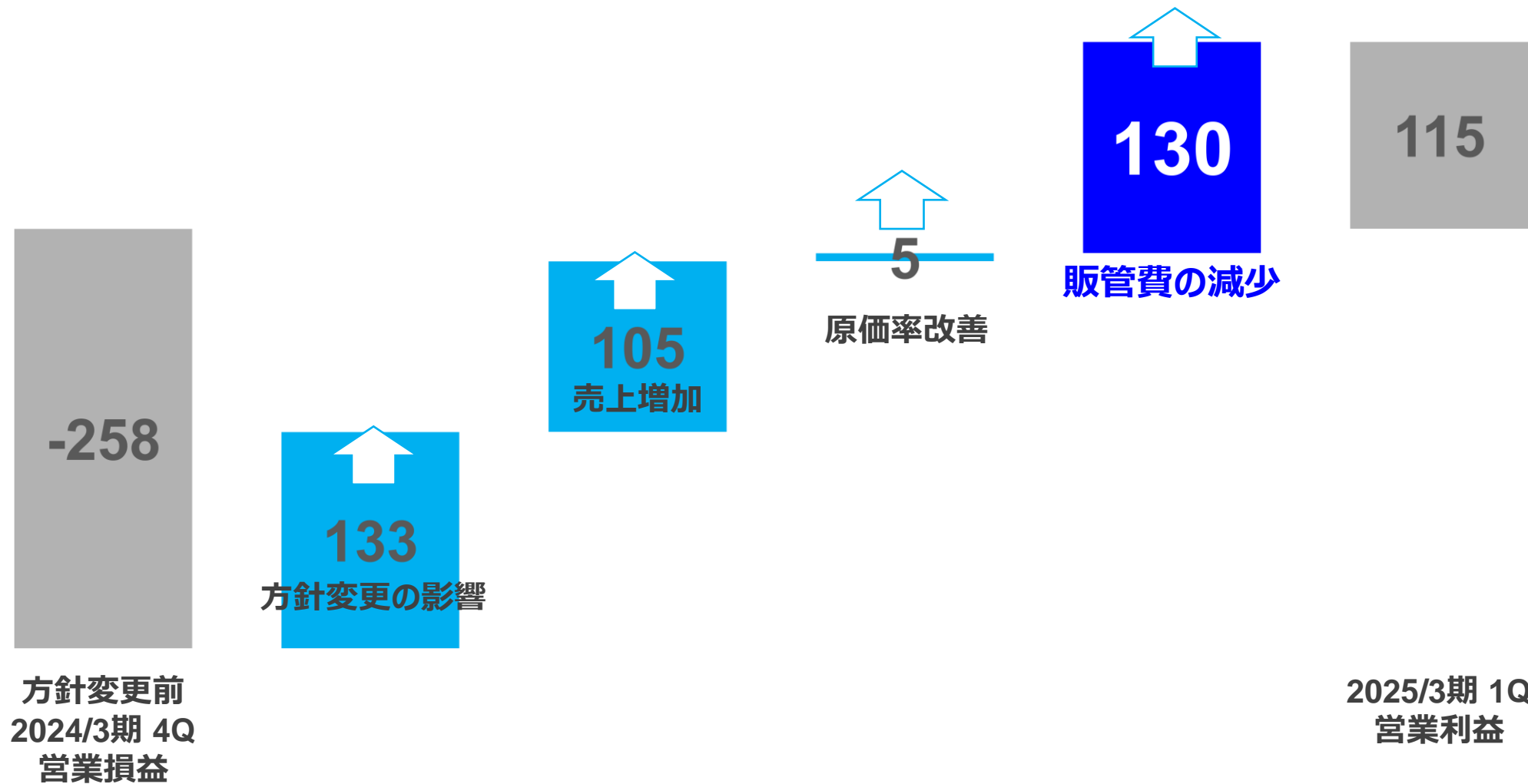
(単位：百万円)



※2023/3期、2024/3期は方針変更前の実績にしております。

Life Science事業：黒字化への対応 <前4Q比>

(単位：百万円)



Digital Communication事業

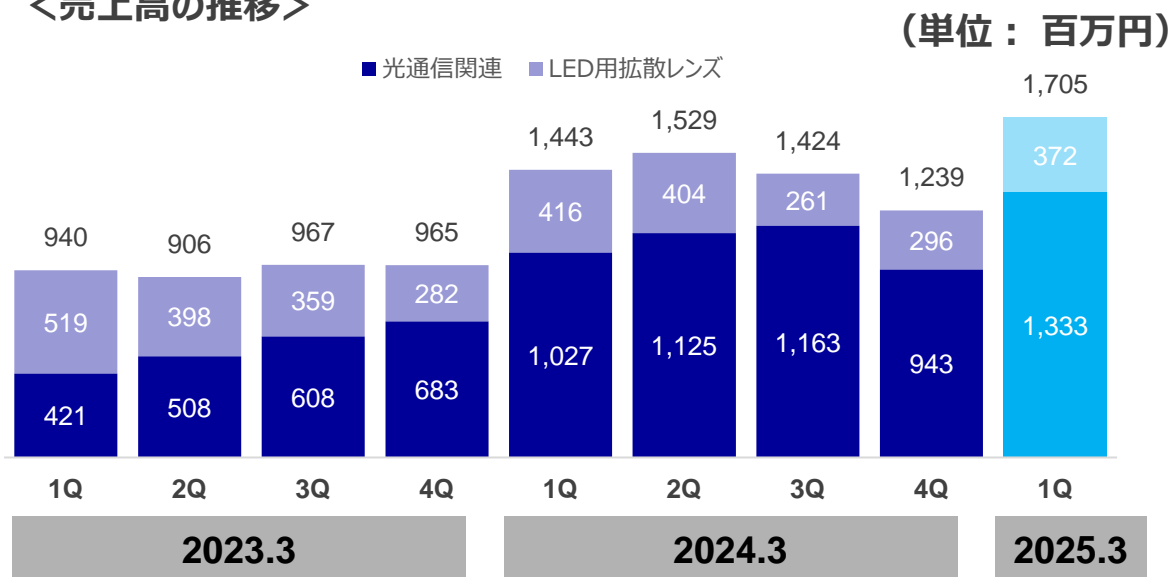
概況

- 光通信関連は、AI用途等において高いシェアを維持
- 光トランシーバーサプライチェーンにおける部品不足が一部解消し、反動増
- LED用拡散レンズは、液晶テレビ市場の需要減少を受け低迷

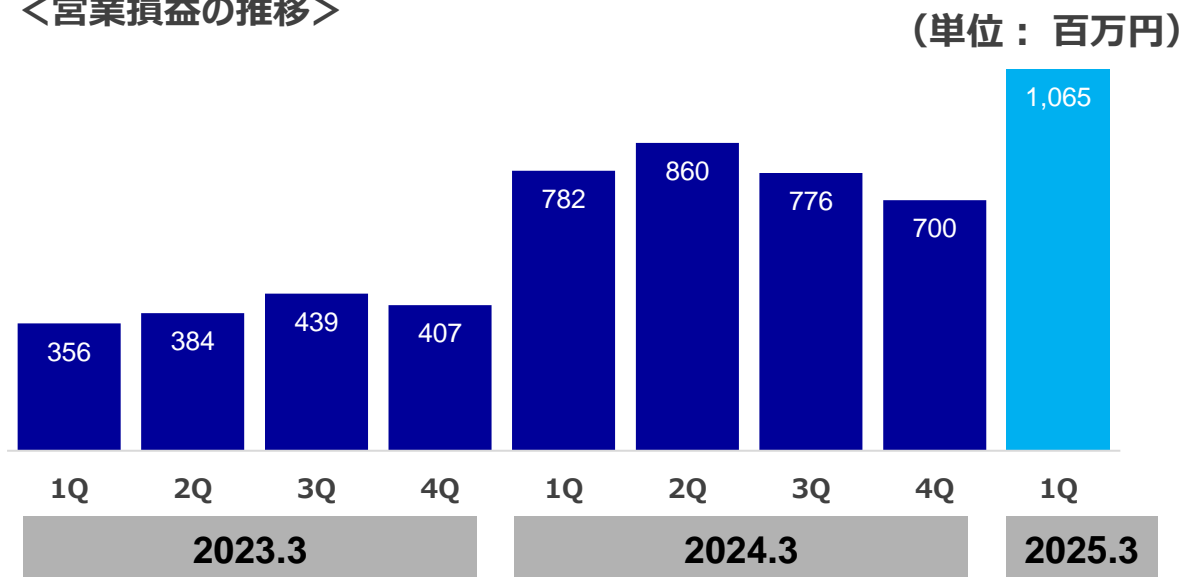
見通し

- 光通信関連は、1Qは部品不足解消による反動増を含み、2Qはその要素が剥落するものの、年間を通して期初想定通りの見通し
- LED用拡散レンズは、液晶テレビ市場の需要減少が続き、1Q比で売上は減少する見通し

<売上高の推移>



<営業損益の推移>



※2023/3期、2024/3期は方針変更前の実績にしております。

Energy Saving Solution事業

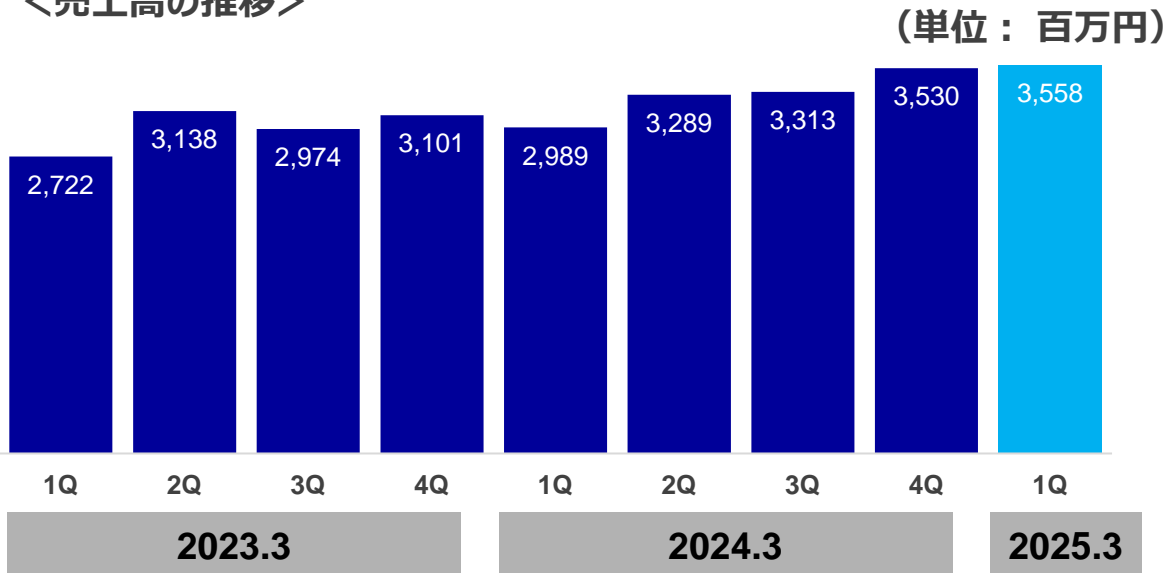
概況

- 好調な自動車市場、自動車の電装化に対応した低騒音・高効率ギヤソリューションビジネスの拡大により、売上は堅調に推移

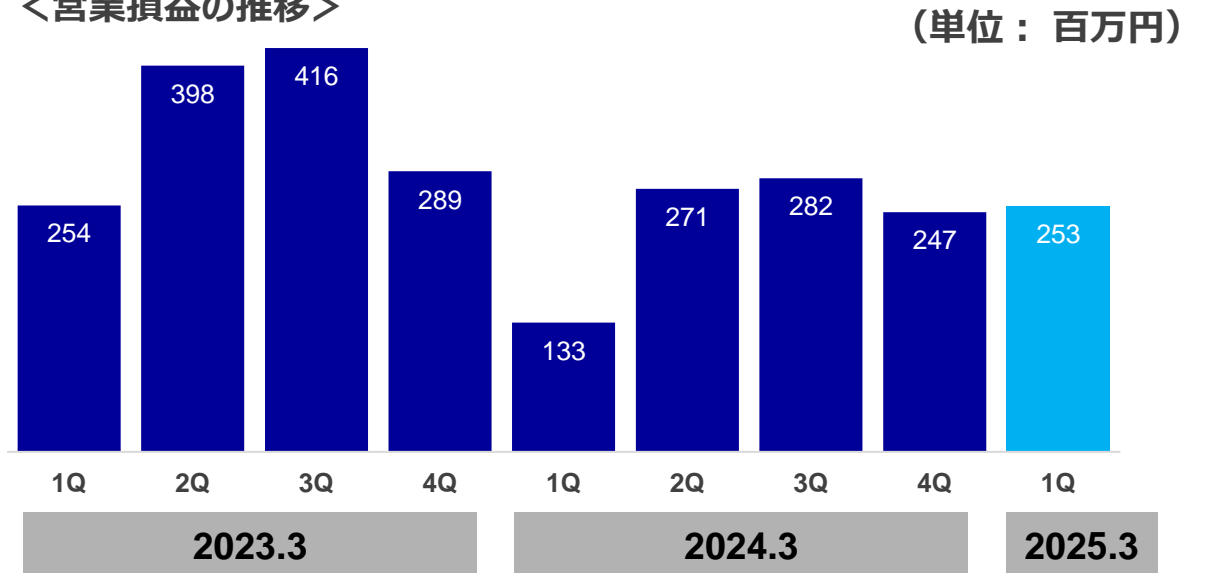
見通し

- 自動車用部品は、自動車市場が好調に推移する中、1Q並みの売上水準が継続する見通し

<売上高の推移>



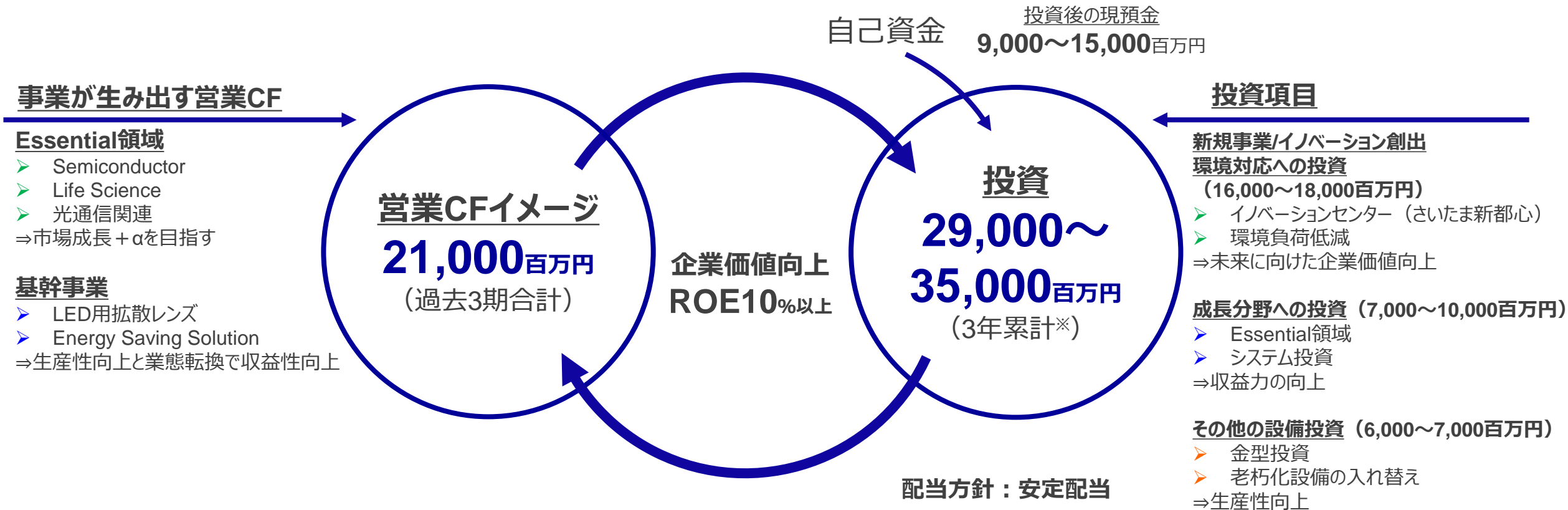
<営業損益の推移>



※2023/3期、2024/3期は方針変更前の実績にしております。

参考：キャッシュアロケーション方針

新規事業/イノベーション創出への投資、成長分野への投資を優先



※3年累計：2025/3期～2027/3期

参考：新社屋の建設（イノベーションセンター）

- ・ソリューションプロバイダーへの業態転換
- ・Essential領域での持続的な価値創出
- ・新規性を追い求め続ける、企業文化の醸成

新社屋の概要

1. 顧客課題の解決に繋がる機能評価の実現

- ラボレイアウトの刷新による多様なテーマへの対応
- 人財およびインフラの集結による共創環境づくり

2. 職場の環境改善

- 多分野の知恵・技術・人から学びあい、幅広いプロジェクト経験による人財の成長
- BCPリスク、エネルギー使用量の低減
- 人財採用競争力の強化

3. 投資予定額

- 約15,000百万円



イメージパース

株式会社エンプラス 決算説明会

<https://www.enplas.co.jp/>

(東証プライム 6961)

本資料で記述されている業績見通し並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。